



総合教育センターだより



京都府総合教育センターは創立30周年を迎えました

Be Connected

平成22年12月16日(木)
第21号(通算第104号)
京都府総合教育センター
TEL 075-612-3266

新学習指導要領には、「伝統と文化の尊重」が示されています。京都には、長年にわたり受け継がれてきた歴史・伝統・文化があり、また世界的にも優れた企業が数多くあります。

センターでは、それらを活用した「**京都ならではの講座**」等を実施しています。今回は、その中から幾つかを紹介します。来年度も多数御参加ください。



京のひと・まちづくり講座

2010・8・4

みつぼしえんかんばやしさんにゆうほんてん

宇治市の三星園上林三入本店で第16代当主による講義「宇治茶の歴史と心」、資料室見学、茶道体験等を行いました。

「ふるさと京都」の歴史、伝統、文化への認識を深め、地域学習の教材開発につなげることをねらいに実施しました。

伝統を守り続けることの難しさ、貫き通すことの厳しさを実感しました。



豊潤な
味わい
...



企業「京の伝統」体験講座

2010・10・21

やまだまつこうほくてん

上京区の(株)山田松香木店で企業体験を実施しました。創業以来、連綿と日本の香り文化を継承してきた企業です。参加者は「匂い袋作り」に熱心に取り組み、香りの世界を満喫しました。その後、中小企業診断士の講義を通し、「**～ならではの**」を生む要素として、哲学と独自のスタイルがあることを学びました。



深遠な
薫り
...



京の教育「みやび」講座

2010・11・5

金剛能楽堂で金剛流宗家の**金剛永謹氏**の講義、二十七世金剛流若宗家の**金剛龍謹氏**他による**能「羽衣」**、大蔵流茂山家一門による**狂言「附子」**を鑑賞しました。

一見感情のないように見える「面」から演技によって、様々な表情や感情が生み出されるなど、洗練された“技”と“雅さ”を感じました。



豪快
かつ
華麗



近畿地区教育研究(修)所連盟「研究発表大会」 講演「和歌に詠まれた四季と年中行事」

2010・11・10

近畿地区教育研究(修)所連盟「研究発表大会」で、財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事・事務局長(京都府教育委員会委員長職務代理者)**冷泉貴実子氏**に御講演いただきました。一般教職員も参加し、日本人の感性や季節の捉え方など、冷泉家に伝わる「**和歌の文化**」に浸りました。



王朝
文化
の華



気になる子どもの理解と対応②

～学習障害(LD)の子どもへの支援～

学習障害の子どもへの支援は、子どもの状況によって大きく異なります。子どもに適した効果的な支援を考えるためには、子どもの見方が重要です。



Q Aさんは、教科書がなかなかうまく読めません。どうしたら良いでしょうか。【主訴】

アセスメントの例

※ここで使用するアセスメントとは、子どもの実態を具体的に把握し、子どもの困難がどのような要因から生じているのか評価することです。



コーディネーター

担任

教科書はどのように読んでいますか？

初めて読む文は、一字一字ゆっくり拾うように読んでいます。途中で読めない漢字があると、止まってしまいます。ひらがなは読めますが、片仮名は読めないものもあります。自分で読むと意味がわかりにくいようですが、読み聞かせをすると、内容はよくわかっています。

読んでいるときの様子はどうですか？

初めて読むときは、指で一字一字を押さえながら読んでいます。読めるようになってからも、頭を動かしながら行を眼で追って読んでいます。行を読み飛ばすこともあります。

何度か読むと読み方は変わりますか？

読めない漢字や片仮名にふりがなを振って、何度か練習するとゆっくりですが読めるようになります。しかし、今度は文末などを読み間違えることが多くなります。

A Aさんは、ひらがなは読めるのに一文字ずつ指で追って読んだり、読めるようになってからも文末の読み間違いが見られたりすることから、文字をある程度まとまって見る（読む）ことの難しさが考えられます。文章に／(スラッシュ)を入れて文字をひとまとまりに見る（読む）練習をしてみましょう。眼の動きやものの見方の難しさが読みの苦手さと関連しているのかもしれませんが、さらにアセスメントしていきましょう。



このように、「教科書が読めない」という状態であっても、「どのように読めないのか？」が支援を考えるヒントになります。子どものアセスメントを十分にを行い、効果的な方法を一つずつ考え、実践し、評価していくことが、より子どもに合った支援をすることにつながります。必要があれば、地域支援センター等専門家の意見を聞くことも有効です。

お知らせ



センターでは、平成21～22年度「LDの特性に応じた指導内容の開発～読み書き障害(困難)に視点をあてて～」をテーマに研究を行っています。年度末には冊子を発刊する予定です。子どもの理解と適切な支援のためにご活用ください。

センターからの一言

一人を心から大切に・・・

ありのままを受け止めること！ どこまでも信じ抜くこと！

徹して励まし続けること！ そして心をつなげること！

